

(様式2)

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 八頭高等学校

重点項目	大学進学重点校	提出日	平成31年4月26日
------	---------	-----	------------

1 学校目標	
<p>(1) 八頭高生らしい態度の育成</p> <ul style="list-style-type: none">①家庭学習の習慣化②学習と部活動の両立③自治精神に満ちた活発な生徒会活動④良好な人間関係が築ける生徒の育成 <p>(2) 生徒が主体的に学習する授業改革</p> <p>(3) 自らの進路を決定し、達成する能力の育成</p> <p>(4) 八頭地域の小中学校と連携し、地域貢献できる生徒の育成</p>	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
<p>地域学校としての八頭高校の魅力化、特色づくりのため、国公立大学等を中心とした大学進学に対応した教育課程編成、学習・進路指導、授業改善の推進を行い、生徒一人ひとりの着実な学力伸長を図ることによって進学実績を向上させる。</p> <p><数値目標></p> <p>国公立大学合格60名(難関国立10大学を含む)</p> <p>※国公立大学合格者数</p> <p>H26年度入試44名 → H27年度58名 → H28年度43名 → H29年度51名 → H30年度60名(目標)</p> <p>※過去5年間の主な国公立大学合格実績… 東京大学、京都大学、神戸大学、東京藝術大学、首都大学東京、筑波大学、岡山大学、広島大学、鳥取大学、鳥取環境大学、島根大学</p>	<p>数値目標の国公立大学合格者数60名には及ばなかったが、推薦入試、AO入試から一般入試(前期、後期)まで積極的に受験し、まんべんなく合格者を出すことができた。生徒のあらゆる可能性を考え、最後まで粘り強く取り組む指導を徹底することができ、一定の成果が得られた。鳥取大学、鳥取環境大学など地元大学にも一定数合格者を出すことができた。</p> <p><数値結果></p> <p>国公立大学合格者数45名 (うち難関国立10大学2名)</p> <p>北海道大学1名 九州大学1名 鳥取大学10名 鳥取環境大学8名 島根大学2名 広島大学2名 など</p> <p>※国公立大学合格者45名のうち、推薦入試合格者10名、AO入試合格者2名、一般入試合格者33名(前期31名、後期2名)</p>

(様式2)

<p>3 実施事業</p>
<p>【高等学校課事業】</p> <ul style="list-style-type: none">・土曜授業等実施事業 土曜自習教室、国公立大学・私立大学進学相談会「夢ナビライブ」(大阪)・外部人財活用事業 (鳥取環境大学教員交流) 探究ゼミ (ガイダンス、中間発表、最終発表)、鳥取大学体験実習・「ようこそ高校へ」版キャリア塾 大学生に聞く「大学と高校の勉強の関係」、キャリア設計講演会・「教えて先輩」版キャリア塾 探究コースによる地元企業家・文化人訪問・21世紀型能力を育むための講師派遣事業 「深い学び」を促進する授業改善研修会 (アクティブラーニング・ICT活用) <p>【独自事業】</p> <ul style="list-style-type: none">・教科でつながる八頭タワー 英語・数学の中高連絡会、中学生特別学習会 (高校開催)、先輩に学ぶ学習会 (中学校開催)・「難関大学を目指そう」講演会・「目指せ文武両道」勉強合宿・英語活用力向上事業 大学入学共通テスト (平成32年度開始) へ向けた英語運用能力検定試験の全員受験・2年生研修旅行 (大学訪問)
<p>4 総合所見 (成果・評価)</p>
<p>受験科目を絞ることなく、全教科にわたって学力の伸長を図ることが、生徒の選択の幅を広げ、良好な結果につながる。今後とも、一般入試のみならず、推薦入試やAO入試も視野に入れ、生徒の能力・適性を最大限に生かした進学指導を実践していきたい。</p>

※枚数任意